

令和4年 9月定例会

令和3年度決算を認定、補正予算は可決

あらまし

令和4年9月定例会は、9月5日から9月28日までの24日間の日程で開催されました。市長専決処分等の報告2件、条例の一部改正5議案、令和4年度補正予算6議案、令和3年度決算10議案、人事案件1議案、そのほか財産の取得等8議案と請願5件が各常任委員会、決算特別委員会に付託され（一部を除く）、慎重に審査・審議を行いました。いずれも議案は原案のとおり可決・同意・認定しました。請願は2件が採択、3件が不採択となりました。

市長専決処分の報告

公用車を後退させようとした際、操作を誤り前進してしまったため、右前方に駐車していた車に接触し、破損させた事案について和解及び損害賠償額の報告がありました。

人権擁護委員候補者の推薦

任期が令和4年12月31日に満了するため、柴崎博之氏が引き続き推薦され、全員一致で同意しました。

工事請負契約の締結

沼尾大橋補修工事に伴い、工事請負契約をホクブ株式会社と締結するため議会の議決を求めるもので、全員



補修工事が行われる沼尾大橋

財産（誘導結合プラズマ質量分析装置）の取得

老朽化した誘導結合プラズマ質量分析装置を更新し、適切な環境調査を継続して

一致で可決しました。

行おうとするもので、全員一致で可決しました。

財産（消防ポンプ自動車）の取得

老朽化した消防ポンプ自動車を更新し、円滑な消防活動を図ろうとするもので、全員一致で可決しました。消防団第26分団（赤城町）に配備されます。

渋川市議会議員及び渋川市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

公職選挙法施行令の一部改正に準じて選挙運動用自動車の使用の公費の支払金額等の改正をしようとする

もので、全員一致で可決しました。

渋川市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正

印鑑登録証明書の自動交付サービスを開始するため、改正をしようとするもので、全員一致で可決しました。

令和3年度決算を認定

一般会計決算の歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支は、23億7290万8324円でした。実質的な収支を把握するための指標となる実質単年度収支は、2億6161万8631円の黒字で、賛成多数で認定

しました。

特別会計・事業会計決算については、国民健康保険特別会計は賛成多数で認定し、そのほかの特別会計及び水道等の事業会計については全員一致で認定しました。

令和4年度一般会計補正予算（第6号）

原油価格及び物価高騰対策として、冬期における生活困窮世帯の暖房経費の助成をはじめ、带状疱疹ワクチン接種費用の助成、電子地域通貨導入や、マイナンバーカード取得促進のための予算で全員一致で可決しました。

常任委員会の審査

総務市民

審査結果 付託された6議案はすべて全会一致で可決しました。また、請願1件は願意に沿いがたく、不採択としました。

渋川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正

地方公務員の育児休業に関する法律の一部改正に伴うものです。

質疑 育児休業の取得状況は。また男性の育児休業を推進する考えは。

【答弁】 令和3年度の取得率は男性は59・3%、女性は100%でした。これまでに以上に周知を図ります。

渋川市立橋小学校トイレ改修工事を巡る官製談合事件に関する請願書

請願理由では、市長の不正が行われていると疑うに足る事実があるので調査

委員会の設置を求めるものですが、そのような事実は認められないとの委員からの意見があり、全会一致で不採択となりました。

総務市民常任委員会協議会

市から次の事項について報告・説明がありました。

- ・渋川市個人情報保護の保護に関する法律施行条例の制定方針について
- ・第4次渋川市安全で安心なまちづくりを推進するための計画(案)

経済建設

審査結果 付託された3議案はすべて全会一致で可決しました。また、請願1件は願意に沿いがたく、不採択としました。

市道の認定について

主要地方道前橋伊香保線改良事業により、旧道の移

管を受けるものです。



新しくなったビジターセンター前交差点

経済建設常任委員会協議会

市から次の事項について報告・説明がありました。

水道料金の改定方針について

水道事業の経営状況は、水需要の減少、施設等の老朽化による経費の増加により、令和3年度純損失が1130万円となりました。今後も非常に厳しい経営状況が予想されます。安全・安心な水の安定供給を行うため、水道料金の改定案を12月定例会で提案し、令和5年7月検針分から改定後の水道料金を適用予定です。

教育福祉

審査結果 付託された請願3件のうち、2件は採択、1件は不採択としました。

教育福祉常任委員会協議会

市から次の事項について報告・説明がありました。

国民健康保険あかぎ診療所の利活用に向けた基本方針について

休止中の国保あかぎ診療所の施設利活用の検討に当たり、サウンディング型市場調査を行います。

質疑 6月にあり方検討委員会の報告で4つの経営形態が示されたのに、今回改めてサウンディング型市場調査を行うのはなぜか。対応が遅いのではないか。

【答弁】 診療所施設を医療機関として活用する方針は決めています。幅広く意見を聞き、需要を把握し、時間をかけてしっかりと慎重に検討を進めていきます。

予算

審査結果 付託された4議案はすべて全会一致で可決しました。

令和4年度渋川市一般会計補正予算(第7号)

移住者住宅支援事業・移住定住新生活応援事業

質疑 助成金の申請者が増加しているため、予算を増額とのことだが、上半期の申込み件数は。

【答弁】 8月現在で住宅支援事業は61件の申請があり、新生活応援事業は35件の申請がありました。新生活応援事業の地区別の内訳は渋川地区25件、子持地区8件、赤城地区1件、北橘地区1件です。

質疑 居住年数等の条件を付けたほうがよいのでは。

【答弁】 慎重に研究をしていきたいと思っています。

質疑 空き家バンクの実績は。

【答弁】 今年度は8月までで4件の実績があります。

令和3年度決算を認定

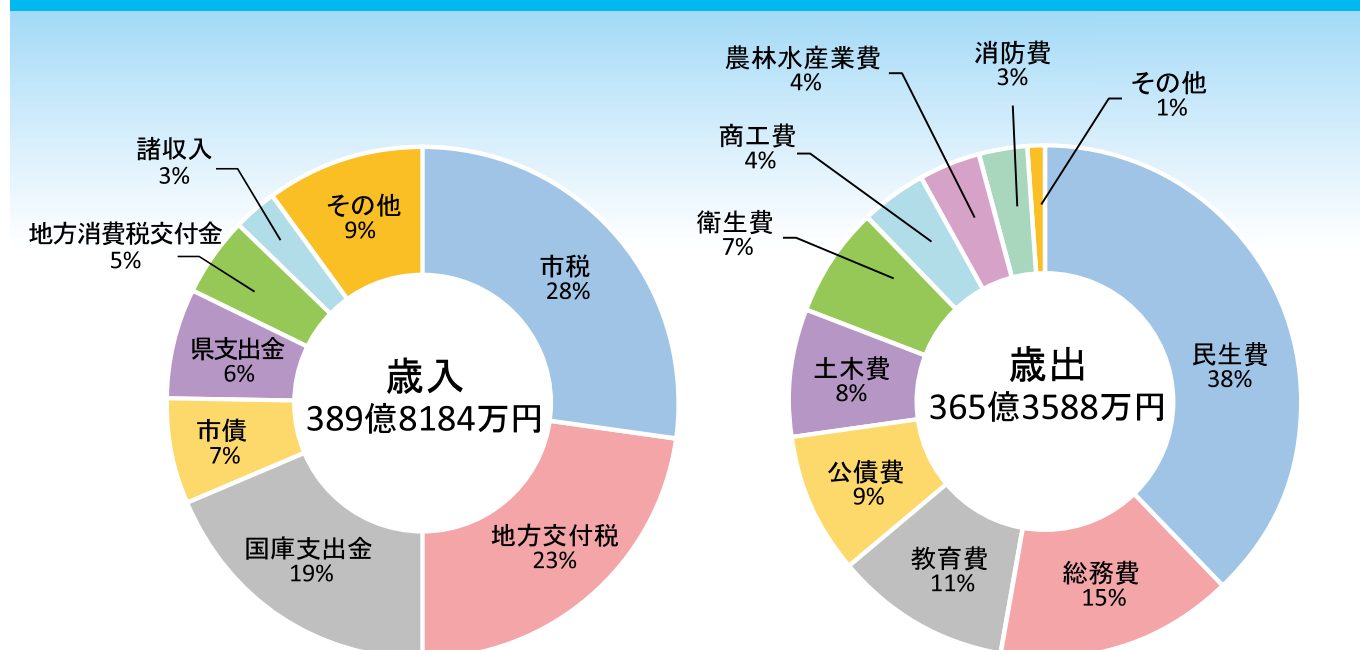
（決算特別委員会）

			歳 入	歳 出
一 般 会 計			389億8184万4890円	365億3588万9566円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険		90億3231万 136円	88億5021万1220円
	後 期 高 齢 者 医 療		11億 96万5866円	10億9570万4728円
	介 護 保 険		92億8237万2498円	89億6296万 46円
	農 産 物 直 売 事 業		222万6388円	122万5539円
	伊 香 保 温 泉 観 光 施 設 事 業		1億3002万2523円	1億 724万8193円
	小 野 上 温 泉 事 業		3179万 383円	3179万 383円
	交 流 促 進 セ ン タ ー 事 業		2353万5369円	2234万7369円
企 業 会 計	水 道 事 業	収益的収入・支出	17億9562万9762円	17億6020万2944円
		資本的収入・支出	1億9685万3742円	10億5411万8712円
	下 水 道 事 業 等	収益的収入・支出	26億2303万1717円	25億 788万5861円
		資本的収入・支出	22億1857万3955円	28億7046万2543円

歳入総額 654億1915万7229円

歳出総額 638億 4万7104円

一般会計決算額の内訳



みなさんの税金の使い道の一部です

民生費 137億8698万円 生活困窮世帯 灯油購入費助成事業 1343万円 園児を守る防犯対策強化事業 534万円 	総務費 53億5719万円 デジタル・ガバメント 推進事業 1886万円 空家活用等支援事業 1330万円 	教育費 42億1350万円 教育ICT活用 促進プロジェクト 4297万円 小学校スタディ アシスタント事業 1530万円 	土木費 28億2580万円 道路維持管理事業 2億3479万円 都市公園等施設管理事業 1億3872万円 
衛生費 25億5737万円 がん対策事業 6609万円 環境調査事業 1019万円 	商工費 16億3746万円 しづかわ観光 応援キャンペーン事業 2億1863万円 しづかわ創業開業支援事業 1373万円 	農林水産業費 15億3244万円 有害鳥獣対策事業 2738万円 竹林整備事業 1361万円 	消防費 12億1528万円 消防ポンプ車購入事業 2577万円 防火水槽新設事業 1533万円 

令和3年度一般会計決算、国民健康保険特別会計決算は多数決、そのほかの決算は全会一致で原案のとおり認定しました。決算特別委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

令和3年度一般会計

自治会連合会等支援事業

質疑 各自治会に配分される行政事務等委託料の算出方法は。

【答弁】 行政事務委託分と地域コミュニティ分を合わせたものを行政事務等委託料として算出しています。行政事務委託分は世帯数×1805円と人口×693円の合計。地域コミュニティ分は一律5万円と人口×44円の合計となっています。

トのマップの作成等で支出しています。令和3年2月から運行開始し、令和3年2月の利用は62件でしたが、直近の令和4年8月の利用は134件となっています。

地域要望等緊急対応事業

質疑 各行政センターに一律に予算があるが、実施状況等と各行政センターの決算額に差がある理由は。

【答弁】 除草、土砂・倒木撤去等を行っています。各行政センターの執行率の差は要望件数、要望内容、対処方法により各行政センターの状況に違いがあることから考えます。

バス交通デマンド化検証事業・バス交通デマンド化事業

質疑 決算内容とデマンドバスの状況は。

【答弁】 バス購入の補助金やデマンドバスの乗降ポイン

がん患者医療用ウィッグ・補整具購入助成事業

質疑 補助の内訳は。

【答弁】 令和3年度の実績は

申請件数31件でした。内訳は、医療用ウィッグ27件、パッドなどの胸部補整具3件、乳房エピソード1件です。補助上限額は3万円です。

生活扶助費等給付事業

質疑 申請時の状況等は。

【答弁】 保護開始理由で最も多いのは預貯金の減少によるものです。そのほか世帯主や世帯員が傷病で働けなくなったことによるものや就労収入の減少等です。

移住定住支援事業

質疑 宣伝に関して、ポスター・パンフレットの枚数と配布先は。

【答弁】 ポスター100枚を印刷し、東京駅を含む5つの駅に掲示し、庁舎や包括連携先、空き家及び空き地の利用を促進するための協力店に配布するとともに、イベント時に使用しています。パンフレットは1000部を増刷し、都内で行われた移住相談会や赤城自然園、伊香保観光協会等に配

布しています。

質疑 移住者住宅支援事業助成金の交付件数74件の地域別内訳は。

【答弁】 渋川地区45件、伊香保地区1件、小野上地区1件、子持地区11件、赤城地区5件、北橘地区11件でした。



移住定住宣伝ポスター

新型コロナウイルスワクチン接種事業

質疑 市役所から県央ワクチン接種センター(高崎市)間の無料シャトルバスの利用実績は。

【答弁】 シャトルバスは令和3年7月5日から8月31日までの58日間運行しました。

乗車人数は延べ742人でした。公共交通機関にアクセスしづらい地域に居住している方や接種後の体調不安を抱えている方など、利用された方は安心して接種を受けることができたと思っています。日によっては乗車人数が少なかったこともありましたが、742人の利用があったことから一定の効果はあったものと考えます。

環境調査事業

質疑 調査の状況は。

【答弁】 特定工場を対象とした排水、騒音、振動、廃棄物等の溶出等の監視・測定を行っています。また、大気については常時監視システムや酸性雨の調査を行っており、そのほか河川等の水質調査や騒音、振動等の調査を行っています。空間放射線量の測定調査も継続的に実施しています。

JR八木原駅周辺整備事業

質疑 令和3年度では自由通路と駅舎、東西駅前広場

の基本設計の業務委託を行い、用地取得に向けて動いていると思うが、現在の状況は。

【答弁】 現在、駅前西広場の用地交渉に着手しております。



整備が行われる八木原駅前

農業振興費について

質疑 各事業の予算が少なく、これで地域農業が維持、継続、振興できるのか。

【答弁】 予算は多くありませんが、状況を把握しながら今後検討していきたいと思っています。また、現在、燃料・資材の高騰等があり、大変苦しい状況となっています。有効な補助の方法を検討し、農業経営が維持できるよう

努めてまいります。

道路維持管理事業

質疑 市道の維持管理にさらに力を入れられないか。

【答弁】 定期的なパトロール・修繕を行いながら、道路の長寿命化を図り、必要に応じて予算計上し、対応していきたいと思っています。令和3年度に舗装した補修面積は1万192・1㎡です。引き続き適切な維持管理に努めます。

学校給食用物資購入費

質疑 物価高騰で給食食材の影響は。また、野菜はできる限り渋川市産を。

【答弁】 今のところ、栄養士等の工夫によって予算内に収まっていますが、現状を確認しながら必要に応じて給食費予算の検討も視野に入れていきたいと思っています。野菜については現在も農協と連携し、仕入れ可能なものは渋川市産を使用していますが、なるべく多くの渋川市産を使えるよう研究をしていきます。

学力向上推進事業

質疑 具体的にどのような策を講じているのか。

【答弁】 1人1台のタブレットと大型電子黒板等を活用し、友達の意見を共有すること、自分の考えを深め、自分の考えを伝える力を伸ばしたいと考えています。学校が楽しいという気持ちを大切に、学ぶ意欲を失わせないような授業づくりに努めていきます。



授業で活用されている大型電子黒板

(仮称)ふるさと歴史館整備推進事業

質疑 令和3年度の成果は。
【答弁】 令和3年度は4回会議を行い、現状と課題の確認や基本構想に向けた原案

の検討を現在も継続中です。

令和3年度特別会計等

国民健康保険特別会計

質疑 健康診査の目標受診率、受診状況について。

【答弁】 目標受診率は約60%と定めていますが、コロナ感染症の関係で受診率は伸びない状況です。糖尿病等は事前の予防が重要です。また、重症化すると医療費の増加にもつながりますので、予防に重点を置いていきたいと思っています。

介護保険特別会計

質疑 介護認定の件数は。サービス利用等において新型コロナウイルス感染症の影響は。

【答弁】 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により通所系サービスから訪問系サービスに切り替える等の動きがありました。令和3年度は通所系サービスの利用控えやサービスの切り替え等の動きはみられ

ず、必要なサービスを利用できている状況となっています。介護認定の状況は、第1号被保険者の認定数は4507人、認定率は17%で、昨年と比べるとほぼ横ばいです。

水道事業会計

質疑 3期連続赤字決算であるが、今後の水道事業の考えを。

【答弁】 現在も行っている有収率の改善も引き続き行っています。施設の統廃合のほか、県が中心になり、水道の広域化の検討も始まっていますので、そういったところへの参画も検討し、努力していきたいと思っています。しかし、経営努力をしても料金改定をしないと経営が成り立たない状況も想定されます。料金改定をしないままではならないことも踏まえながら経営努力も引き続き行っていくという形で進めていきたいと思っています。

論

討

「令和3年度渋川市一般会計歳入歳出決算について」

賛成

財政運営では、借り入れと償還のバランスに配慮した市債残高の圧縮など財政健全化に向けた取り組みが進められた結果、前年度に比べ将来負担比率が6・2ポイント改善するなど適切な財政運営がなされたものと評価する。

コロナ禍においても共生社会実現の取り組みの推進をはじめ、移住定住支援や小中学校のICT環境整備による教育環境の充実など各分野においてさまざまな事業を積極的に展開し、本市の活性化や安全安心な市民生活の確保が図られた。

反対

保育料や学校給食費の無償化の継続実施等評価できるものはあるものの、新型コロナウイルス感染症対策では、市での無料PCR検査実施を提言してきたが、実施に至らなかった。環境問題では鉄鋼スラグによる土壌、水質汚染が続いており、対策に真剣に取り組むことを求める。

行財政改革による職員削減で今や市職員の48%が非正規である。サービス向上のためにも、特に教育、保育では職員の多忙化解消や子どもと向き合う時間の確保のためにも正規職員増員を求める。